

令和7年度

事業報告書

公益財団法人北九州市芸術文化振興財団

## 令和7年度事業実績

### 《 総 括 》

本財団は、市民の芸術文化活動の振興に関する事業を行うと共に、埋蔵文化財の発掘調査、研究及び保護等を行い、文化の薫るまちづくりと市民の豊かな芸術文化の創造に寄与することを目的としている。

令和7年度も、引き続き北九州市より指定管理者の指定を受け、北九州市の文化拠点「北九州芸術劇場」および全国的にも優れた音響効果を誇る音楽専用ホール「響ホール」(指定管理期間:令和7年4月1日から令和10年3月31日)、市民の芸術文化活動支援施設「大手町練習場」(指定管理期間:令和7年4月1日から令和12年3月31日)の3つの芸術文化施設等の管理運営を行っている。また、これらの施設を活用し、市民が優れた芸術文化に接する機会や市民の文化活動の場を提供する等、市域の芸術文化活動の振興に取り組んでいる。

まず、舞台芸術の振興では、「北九州芸術劇場」を中心に「創る」「育つ」「観る」「支える」をコンセプトに、オリジナルの舞台芸術作品の制作・上演による全国への発信、舞台芸術の手法を使った人材育成や教育普及事業の実施、芸術性あふれる優れた公演を市民に幅広く提供するなど多様な事業を行った。

令和7年度は、平成24年度より実施する『Re:北九州の記憶』事業の新作「石炭の走る街」の上演と、「7つのまちの物語」門司編・若松編のリーディング公演を行ったほか、地域で活躍するアーティストと協働し市民参加作品を創作する「キタゲキローカルアーティスト協働プログラム」の創造事業2件、劇場オープンより継続している小・中・特別支援学校の生徒を対象とする学校アウトリーチ「キタQアーティストふれあいプログラム」、市民センター・図書館などの団体とアーティストとの協働事業「ひとまち+アーツ協働事業」、高校卒業後の若年層をターゲットに舞台芸術を体系的に学び演劇作品の創作・発表までを行う「キタゲキスクール2025」等の学芸事業7件、「日韓合同公演『焼肉ドラゴン』」、「最後のドン・キホーテ THE LAST REMAKE of Don Quixote」、「ダンス作品兼演劇作品『ダンスの審査員のダンス』」等の公演事業8件、関係団体と提携・協力し様々なジャンルの作品を上演する提携・協力事業14件を実施した。広報面においては、ホームページやSNS等を活用し継続的な情報発信に努めたほか、マスコミへのアプローチも継続し、テレビや新聞による創造事業の創作現場の取材や報道も実現。また、地域に根差した劇場の活動をより広く市民へ届けるツールとして学芸事業のアーカイブ「キタゲキ通信」を発行したほか、新たな試みとして劇場応援キャラクターを活用したPRを行うなど、より市民に親しみやすい劇場としての発信も行った。

次に、音楽文化の振興では、「響ホール」の基本方針を「創造と発信(創造・公演事業)」「育成と継承(育成事業)」「地域連携による心豊かな社会の実現(連携・支援・地域文化振興事業)」「優れた音楽環境を継ぐ」と定め、音楽専用ホールとしての特性を生かしたオリジナルコンサートの制作・公演など質の高い音楽鑑賞機会の提供、音楽の手法を用いた人材育成・教育普及事業の実施、地域の音楽文化の担い手の育成・継承を行うなど多様な事業を行った。

令和7年度は、初心者にも開かれた平日ランチタイムコンサートの入場料を見直し、「響ホールへようこそ！」としてリニューアルした。また、事業の柱である公演は「響リサイタルシリーズ」から「響シリーズ」へ名称変更し、創造事業を含む多様な演奏形態を展開した。

さらに、新たにインクルーシブ公演を実施し、市内特別支援学校の児童生徒を迎え入れるなど、認知度向上と新たな観客層へのアプローチを進めた。

育成事業としては、情操豊かな子どもたちの育成のため「北九州市少年少女合唱団」と「北九州市ジュニアオーケストラ」の運営等を行った。

2025北九州国際音楽祭では、名物企画となった「マイスター・アールト×ライジングスター オーケストラ」が世界水準の合唱団である東京オペラシンガーズを迎え、ベートーヴェン『第九』に挑んだ。また、本市出身の新進気鋭ピアニスト谷昂登が、世界最高峰の弦楽四重奏団「ハーゲン・クアルテット」と共演した。本音楽祭でしか鑑賞できない世界水準の創造事業公演を提供するとともに、その他の公演や教育・特別プログラム、協賛事業、組織委員会運営を通じて、地域音楽文化の拠点としての役割を果たした。

また、情報提供事業としては、芸術文化情報センターの運営及び公演情報誌「情報誌Q」の刊行、

並びに北九州市芸術文化情報サイト「かるぼー」の管理運営等により、市内の芸術文化活動の周知及び公演情報の提供を行った。

その他、埋蔵文化財に関する発掘調査及び保存、調査研究や報告書刊行の事業と埋蔵文化財センターの維持管理等を北九州市などから受託しており、令和7年度の発掘調査等については、折尾土地区画整理事業など発掘4件、中貫貫弥生が丘1号線道路改築事業など整理8件、合計12件の事業を実施した。

## 《公益目的事業の実施状況等》

### I 文化創造事業の実施

#### 1 舞台芸術の振興

北九州市の舞台芸術の拠点施設である北九州芸術劇場において、「創る（創造事業）」「育つ（学芸事業）」「観る（公演事業）」「支える（支援事業）」をコンセプトに、市民の多様な公演ニーズに対応した事業を行った。

#### (1) 創造事業

北九州芸術劇場オリジナルの舞台芸術作品を制作し、公演を実施した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数(人)
<p><b>公 1-1(1)</b></p> <p>「Re：北九州の記憶」</p> <p>①「7つのまちの物語」 リーディング公演</p> <p>・門司編 「カラオケ喫茶キミ」</p> <p>・若松編 「若松積日物語」</p> <p>②「石炭の走る街」</p>	<p>①</p> <p>・門司編 カラオケ房夢ころろ 7月4日（金） ～5日（土） 3公演</p> <p>・若松編 ウイングブラザ 7月19日（土） ～20日（日） 2公演</p> <p>②北九州芸術劇場 中劇場 10月17日（金） ～18日（土） 2公演</p>	<p>地域の劇作家と共に高齢者の記憶を演劇的手法で後世へ継承していく取組として、平成24年度より実施する「Re：北九州の記憶」。この蓄積をもとに、新たに「まちの記憶」を掘り起こし戯曲化・舞台化していく事業、これまで生まれた戯曲から学校鑑賞作品を創作し次世代へ継承していく事業の2事業を展開した。</p> <p>① 門司編 【作・演出】穴迫信一 （ブルーエゴナク）</p> <p>若松編 【作・演出】寺田剛史 （block）</p> <p>② 【脚本・構成・演出】 山口大器 （集合チキーン）</p>	<p>① [門司編] 59 [若松編] 87</p> <p>② 359</p>
<p><b>公 1-1(1)</b></p> <p>キタゲキローカルアーティスト協働プログラム</p>	<p><b>公 1-1(3)</b></p> <p>[ワークショップ] 上津役市民センター 9月22日（月）</p> <p>他、創作の種となる地域へのリサーチ（地域交流）</p> <p>8月～2月</p>	<p>劇場と地域で活躍するアーティストとが2年間協働し、オリジナルの市民参加作品を創作する新シリーズの第2弾。舞台芸術の力を活用し“市民との交流や体験を行う”1年目、1年目の活動をもとに“市民と共に作品を創作・上演する”2年目、のうち1年目。</p> <p>【ローカルアーティスト】 山口大器</p>	<p>[ワークショップ] 8</p>

(2)学芸事業

舞台芸術の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数(人)
<p>公 1-1(3)</p> <p>キタ Q アーティストふれあいプログラム</p>	<p>市内小・中学校（特別支援学級含む）、特別支援学校</p> <p>①門司海青小学校 湯川小学校 北方小学校</p> <p>②穴生中学校 中央中学校</p> <p>③高槻小学校 高生中学校</p> <p>④霧丘小学校 槻田小学校</p> <p>⑤中原中学校 大里柳小学校 八幡西特別支援学校</p> <p>⑥大里南小学校 貴船小学校 寿山小学校</p> <p>⑦熊西小学校 中井小学校 本城中学校 徳力小学校 〈ギラダンス〉</p> <p>9月～2月</p>	<p>第一線で活躍するアーティストと市内の学校へ出かけ、演劇・ダンスのアウトリーチプログラムを実施。未来を担う子どもたちが、舞台芸術や多様な価値観をもつアーティストと出会いふれあうことで、創造力や表現力を育み、豊かな個性を伸ばす手助けとなることを目指し実施した。</p> <p>【アーティスト】 (演劇) ①有門正太郎 ②福田修志 ③守田慎之介</p> <p>(ダンス) ④大島匡史朗 ⑤セレノグラフィカ ⑥長与江里奈 ⑦乗松薫、今村貴子</p>	<p>①197</p> <p>②179</p> <p>③104</p> <p>④168</p> <p>⑤53</p> <p>⑥143</p> <p>⑦307</p>
<p>公 1-1(3)</p> <p>ひとまち+アーツ協働事業</p> <p>①図書館協働プログラム 「戯曲を書く」講座</p> <p>②シニア生きがいプログラム ダンス・演劇ワークショップ</p> <p>③市民センター協働プログラム ・演劇ワークショップ ・ダンスワークショップ</p>	<p>①北九州市立八幡図書館 9月～2月 全6回</p> <p>②北九州芸術劇場小劇場、中劇場、創造工房 5月～11月 全8回</p> <p>③ (演劇) 日明市民センター 足立市民センター (ダンス) 錦町市民センター 老松市民センター 枝光市民センター</p> <p>8月～1月</p>	<p>芸術分野や、それ以外の施設や団体・アーティストと協働し、地域が抱える課題等について、中長期的なビジョンを共有しながら、その解決に向かうプログラムを実施。劇場が培ってきた専門知識やノウハウ、アーティストや舞台芸術の持つ想像力・創造性を活かし、人と人、人とまちを繋ぎ、本市に暮らす誰もが心豊かな生活を送ることができる環境を提案した。</p> <p>【アーティスト】 ①守田慎之介 ②セレノグラフィカ 多田淳之介 ③(演劇)有門正太郎 (ダンス)乗松薫</p>	<p>①21</p> <p>②104</p> <p>③80</p>

<p>公 1-1(3)</p> <p>キタゲキサポーター活動事業</p>	<p>北九州芸術劇場内 通年 全10回</p>	<p>劇場開館より共に活動してきた劇場文化サポーターOB・OGを対象に、『分かち合い・発信する』をテーマに実施した。サポーターとして得た知識に、観劇やワークショップの体験を重ね合わせ、サポーター同士で共有し発信することで、市民と劇場との懸け橋となること、また劇場ミッションをより浸透させることを目指し実施した。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験（共有）と発信 観劇やワークショップの体験後、各々の理解や新たな気づきを他者と共有し発信する。</li> <li>・サポーター活動 公演時のサポートを行う。</li> </ul>	<p>26</p>
<p>公 1-1(3)</p> <p>高校生のための演劇塾</p> <p>① 戯曲講座</p> <p>② 演技・演出講座 (夏期ゼミ)</p> <p>③ 舞台技術講座 (モギテク)</p>	<p>北九州芸術劇場内</p> <p>① 6月～7月</p> <p>② 8月5日(火) ～7日(木)</p> <p>③ 8月23日(土) ～24日(日)</p>	<p>高等学校芸術・文化連盟演劇部門北九州支部との共催で、高校生のための「演劇づくり」の基礎講座を実施。地域の演劇人や劇場スタッフを講師とした3種の体験型講座・講習を通して、未来の演劇人の創出および北九州地区高校演劇部のレベル向上を図った。</p> <p>【ディレクター】 守田慎之介</p> <p>【講師】</p> <p>① 山口大器</p> <p>② 飯野智子、寺田剛史 門司智美、山口大器</p> <p>③ 北九州芸術劇場テクニカルスタッフ</p>	<p>① 3</p> <p>② 49</p> <p>③ 25</p>

<p>公 1-1(3)</p> <p>舞台芸術表現者 育成事業 「キタゲキスク ール 2025」</p>	<p>北九州芸術劇場 小劇場、創造工房 4月～11月</p> <p>成果発表公演 11月29日(土) ～30日(日) 2公演</p>	<p>高校卒業後の若年層をターゲットに、舞台芸術を体系的に学ぶ場をつくり、地域の舞台芸術を担う次世代を養成するプログラム。国内の第一線で活躍する実演家や地域の表現者を講師に迎え、ワークショップ等の体験からアートマネジメントや文化政策などの知識習得、最終的には演劇作品の創作・発表までを行った。</p> <p>【対象】 18歳以上25歳以下の、表現活動や舞台芸術に興味がある方</p> <p>【総合ディレクター】 守田慎之介</p> <p>【サブディレクター】 青野大輔</p> <p>【講師】 セレノグラフィカ 多田淳之介 田上豊 津村卓 土田英生 泊篤志 内藤裕敬 中村蓉 山口大器 吉本光宏 北九州芸術劇場テクニカルスタッフ</p>	<p>[事前ワークショップ・面接] 13</p> <p>[オリエンテーション] 14</p> <p>[タッソワーク ショップ①] 12</p> <p>[タッソワーク ショップ②] 12</p> <p>[演劇ワークショップ] 13</p> <p>[戯曲講座] 14</p> <p>[演劇創作講座 初級編] 12</p> <p>[俳優向け ワークショップ] 11</p> <p>[演劇史講座] 13</p> <p>[文化政策・アート マネジメント講座] 13</p> <p>[演出講座] 13</p> <p>[作品作り ワークショップ] 14</p> <p>[舞台基礎講座] 14</p> <p>[観劇体験] 13</p> <p>[上演作品稽古 ・本番] 14</p> <p>[成果発表公演] 145</p>
--	--	--	--

<p>公 1-1(3)</p> <p>地域コーディネーター 育成プログラム</p>	<p>北九州芸術劇場 創造工房</p> <p>11月8日(土) ～9日(日)</p>	<p>劇場が培ってきた事業ノウハウを活かし、芸術文化やそれ以外の様々な分野で活動する人々を広く募り、仲間づくりを行うと共に、芸術文化を核にした地域の活性化を共に考え、実行できる人材を育成するプログラム。ワークショップ体験や他地域の事例紹介を通し、企画立案を行った。</p> <p>【対象】 文化・芸術活動に興味を持つ地域住民、公共ホール職員、行政担当者(18歳以上)</p> <p>【アーティスト・講師】 大澤寅雄・有門正太郎・北村成美・荒井洋文・山内泰</p>	<p>20</p>
<p>公 1-1(3)</p> <p>創造支援事業 演カツ!!2025</p>	<p>北九州芸術劇場 創造工房</p> <p>8月～1月</p>	<p>演劇・演舞の活動・活躍・活性＝「演カツ」の場として、劇場内の稽古場を個人または団体へ貸し出し、創造環境の支援を行う事業。地域のアーティストたちの新たな表現活動への取組や、様々な知識・ノウハウ獲得のサポートを目的として実施した。</p>	<p>[Stage Me] 14</p> <p>[赤シャツ・ソサース] 14</p>

### (3) 公演事業

市民に、より良質な舞台芸術を提供した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数(人)
<p>公 1-1(2)</p> <p>ラッパ屋第50回 公演 「はなしづか」</p>	<p>北九州芸術劇場 中劇場</p> <p>4月27日(日) 1公演</p>	<p>「大人が楽しめる芝居づくり」を掲げ、普通にまじめに一所懸命に生きる男女の日常でサラリーマンをはじめ、OL、主婦、演劇ビギナーから演劇マニアまで幅広い層から支持を集めるラッパ屋の記念すべき第50回公演。新作公演は、戦時下で奮闘した落語家たちを描き、劇団員と客演キャストのほか落語家3名を迎え、満足度の高い公演となった。</p> <p>【脚本・演出】 鈴木聡</p>	<p>598</p>

<p>公 1-1(2)</p> <p>名取事務所公演 「燃える花嫁」</p>	<p>北九州芸術劇場 小劇場 6月28日(土) ~29日(日) 2公演</p>	<p>若手の視点で前衛的な会話劇を発表し続けているピンク地底人3号が「移民」をテーマに描く新作公演。演出は文学座所属、2024年第31回読売演劇大賞で優秀演出家賞を受賞した生田みゆき。架空の日本、難民が暮らすとある地区を舞台に綴る、国の未来に一石を投じる注目作を上演した。</p> <p>【作】 ピンク地底人3号 【演出】 生田みゆき</p>	<p>212</p>
<p>アロフト・サーカス・アーツ 「ブレイブ・スペース」</p>	<p>公 1-1(2) 北九州芸術劇場 中劇場 (舞台上) 8月9日(土) ~10日(日) 3公演</p> <p>公 1-1(3) [関連企画] ワークショップ 「Jump into the circus! ジャグリング&amp;フラフープに挑戦!」 北九州芸術劇場 小劇場 8月8日(金) 1回</p>	<p>世界で人気を誇るサーカスカンパニーによる、パンデミックによって世界が分断された時代に「信頼できるコミュニティをつくる」というアイデアをもとに生み出された作品。舞台上に現れるテントの中で、観客も作品の一員として迎えらる約1時間の体験型パフォーマンスで、幅広い世代の観客を魅了した。また、出演パフォーマーによる体験ワークショップを小学3年生~中学3年生を対象に実施した。</p> <p>【演出・コンセプト】 シェイナ・スワンソン</p>	<p>[公演] 292</p> <p>[ワークショップ] 16</p>
<p>公 1-1(2)</p> <p>「最後のドン・キホーテ THE LAST REMAKE of Don Quixote」</p>	<p>北九州芸術劇場 中劇場 10月25日(土) ~26日(日) 3公演</p>	<p>ミゲル・デ・セルバンテスの代表小説「ドン・キホーテ」をモチーフに創作する新作公演。幅広い世代に親しまれる古典の名作を、総勢20名に及ぶ豪華出演者と生演奏を交えた一大冒険奇譚へと仕立て贈る物語は、読売演劇大賞最優秀作品賞を受賞するなど、2025年を代表する作品として高く評価された。</p> <p>【作・演出】 ケラリーノ・サンドロヴィッチ</p>	<p>1,306</p>

<p>公 1-1(2)</p> <p>日韓合同公演 「焼肉ドラゴン」 (日本語字幕付き)</p>	<p>北九州芸術劇場 中劇場 12月6日(土) ～7日(日) 2公演</p>	<p>2008年の初演時、東京・ソウル公演で毎回スタンディング・オベーションとなる熱狂的な反応でその年の演劇賞を総なめにした話題作を日韓国交正常化60周年の2025年、4度目の再演(北九州では2度目の上演)。関西の焼肉屋を舞台に、ある在日コリアンの家族を通して、日韓の現在、過去、未来を描き、上演を心待ちにした観客の間に大きな感動を呼んだ。</p> <p>【作・演出】 鄭義信</p>	<p>715</p>
<p>公 1-1(2)</p> <p>二兎社公演 49 「狩場の悲劇」</p>	<p>北九州芸術劇場 中劇場 12月13日(土) ～14日(日) 2公演</p>	<p>緻密な人物描写と批評性の強い作品で、名実ともに日本演劇界を代表する劇作家・永井愛率いる二兎社の新作公演。原作はチェーホフの名著『狩場の悲劇』。帝政ロシアの人間社会を映したチェーホフと、人間ドラマを通して日本社会や時代の様相を描く永井愛の、時間と空間を飛び越えた奇跡のコラレーションミステリーで濃密な演劇作品となった。</p> <p>【原作】 アントン・チェーホフ</p> <p>【脚色・演出】 永井愛</p>	<p>838</p>
<p>公 1-1(2)</p> <p>クラウド・ゲイト・ダンスシアター (雲門舞集) 「WAVES」</p>	<p>北九州芸術劇場 中劇場 12月21日(日) 1公演</p>	<p>2023年初演、中国語圏で初の現代舞踊集団・雲門舞集の芸術監督である鄭宗龍と、日本が世界に誇るデジタルメディアアーティスト真鍋大度のコラボレーションプロジェクト。アートと先端テクノロジーを融合させ、新たな視点を観客に提示した。</p> <p>【振付・コンセプト】 鄭宗龍</p> <p>【コンセプト・ビジュアル・音楽・プログラム】 真鍋大度</p>	<p>262</p>

ダンス作品兼演劇作品 「ダンスの審査員のダンス」	公 1-1(2) 北九州芸術劇場 中劇場 1月25日(日) 1公演	現代演劇の最前線に立ち、海外でも高い評価を受ける演劇作家・岡田利規による新作公演。国内外で活躍する注目のダンサー、俳優、気鋭の音楽家や舞台美術家も加わり、ダンスや演劇という領域を超えたジャンルレス作品を上演した。また、出演者のひとりである世界的バレリーナ、酒井はなのワークショップも好評を博した。  【作・演出・振付】 岡田利規	[公演] 224  [ワークショップ] 26
	公 1-1(3) [関連企画] 酒井はなダンス・バレエワークショップ 北九州芸術劇場 創造工房 1月18日(日) 2回		

#### (4) 提携・協力事業

劇団やアーティスト、民間企業との事業連携等により、様々なジャンルの事業を実施した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数(人)
公 1-1(5)  【協力】 パルコ・プロデュース2025 「先生の背中～ある映画監督の幻影的回想録～」	北九州芸術劇場 大ホール 7月11日(金) ～12日(土) 2公演	映画監督としての活躍にとまらず舞台でも評価の高い行定勲と、ドラマ、映画、声優とジャンルを問わず活躍し、舞台にも意欲的に取り組み各方面から高い評価を集め続ける中井貴一との最強タッグが、10年ぶりに舞台作品で復活した話題作を上演した。  【作】鈴木聡 【演出】行定勲	2,101
公 1-1(5)  【協力】 「みんな鳥になって」	北九州芸術劇場 大ホール 8月15日(金) ～17日(日) 4公演	作家ワジディ・ムワウドが2016年にパリ・国立コリヌ劇場の芸術監督に就任する際に発表し、その後も再演を繰り返した代表作のひとつ。この大胆にして緻密な戯曲を、数々の演劇賞を受賞し次期新国立劇場芸術監督に就任予定で、演劇界を担っていく演出家、上村聡史による演出で上演した。  【作】ワジディ・ムワウド 【演出】上村聡史	3,263
公 1-1(5)  【協力】 赤堀雅秋プロデュース 「震度3」	北九州芸術劇場 中劇場 9月19日(金) ～21日(日) 4公演	劇作家・演出家・俳優・映画監督として幅広く活躍する赤堀雅秋によるプロデュース公演。喜劇的スタンスを軸にした作品を、時代を捉えた空気感と、荒川良々、丸山隆平など注目のキャストにより上演した。  【作・演出】赤堀雅秋	2,525

<p>公 1-1 (5)</p> <p>【協力】 Bunkamura Production 2025「アリバ バ」「愛の乞食」</p>	<p>北九州芸術劇場 大ホール 9月27日(土) ～28日(日) 2公演</p>	<p>唐十郎初期の名作戯曲を、 “関西弁”という新しいアプ ローチで、安田章大主演、新 宿梁山泊主宰の金守珍演出に より二作連続上演した。</p> <p>【作】 唐十郎 【脚色・演出】 金守珍</p>	<p>2,337</p>
<p>公 1-1 (5)</p> <p>【提携】 飛ぶ劇場 Vol.48「パケケ タスがやって来 る」</p>	<p>北九州芸術劇場 小劇場 10月3日(金) ～5日(日) 4公演</p>	<p>北九州を拠点に結成35年を 超える老舗劇団、飛ぶ劇場の 新作公演。時代を鋭く切り取 る社会性とエンターテインメ ント性の高さで老若男女に人 気を博しており、今回は「よ い人生とは何なのか？」を問 う老人たちの「自分取り戻 し」冒険活劇を上演した。</p> <p>【作・演出】 泊篤志</p>	<p>422</p>
<p>公 1-1 (5)</p> <p>【提携】 EPOCH MAN 「我ら宇宙の塵」</p>	<p>北九州芸術劇場 小劇場 11月14日(金) ～16日(日) 5公演</p>	<p>5名の出演者と1体のパペッ トが繰り広げる、宇宙と生命 の物語。2023年に初演、 第31回読売演劇大賞優秀作 品賞、優秀演出家賞、最優秀 女優賞に輝いた話題作。現地 キャストでのロンドン公演を 経て、オリジナルキャストに よる待望の再演は好評を博し た。</p> <p>【作・演出・美術】 小沢道成</p>	<p>650</p>
<p>公 1-1 (5)</p> <p>【協力】 舞台「チ。一 地 球の運動につい て」</p>	<p>北九州芸術劇場 大ホール 11月29日(土) ～30日(日) 3公演</p>	<p>胸を掴む怒涛のセリフと予想 のつかないダイナミックな展 開に、漫画ファンのみならず 多くの読者が虜になった人気 作品の舞台化。 地球の真理を知ること魅せ られ命を懸ける人間たちを描 いた衝撃作を、全く新しい演 劇作品として創作、窪田正 孝、森山未来などの人気俳優 により上演した。</p> <p>【原作】 魚豊 【脚本】 長塚圭史 【演出】 アブシャロム・ポラック</p>	<p>3,565</p>

<p>公 1-1(5)</p> <p>【協力】 ヨーロッパ企画 第 44 回公演 「インターネ島 エクスプローラ ー」</p>	<p>北九州芸術劇場 中劇場 2月14日(土) ～15日(日)</p> <p>2公演</p>	<p>映画「サマータイムマシン・ブルース」の原案でも知られる京都発の人気劇団の新作公演。登場人物や独特のゆるい日常会話など、様々なアイテムを絡ませながら、実験的な“笑い”の空間を創出した。</p> <p>【作・演出】上田誠</p>	<p>899</p>
<p>公 1-1(5)</p> <p>【協力】 「ピグマリオン -PYGMALION-」</p>	<p>北九州芸術劇場 大ホール 2月21日(土) ～23日(月・祝)</p> <p>4公演</p>	<p>シェイクスピアに次ぐ英国人劇作家の巨匠でありノーベル賞作家であるバーナード・ショーの代表作『ピグマリオン』。1913年にウィーンのホーフブルク座で初演されて以来、今もなお世界中で愛され続ける名作を沢尻エリカ&amp;六角精児らの豪華キャストにより上演した。</p> <p>【作】ジョージ・バーナード・ショー 【演出】ニコラス・バーター 【翻訳】高田曜子</p>	<p>2,777</p>
<p>公 1-1(5)</p> <p>【提携】 「Choreographers2025」 北九州公演 次代の振付家による ダンス作品上演&amp; トーク</p>	<p>[選考会] 北九州芸術劇場 創造工房 9月14日(日)</p> <p>[公演] 北九州芸術劇場 小劇場 2月22日(日) 1公演</p> <p>[関連企画] &lt;オドルお茶会&gt; ワークショップ 北九州芸術劇場 創造工房 2月23日(月・祝) 1回</p>	<p>ダンスの創造支援や普及に取り組むNPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワークが行う事業。気鋭の振付家の作品を連続上演し全国各地のダンスの起爆剤となることを目指すもの。</p> <p>「KYOTO CHOREOGRAPHY AWARD (KCA) 2024」の振付家による2作品のほか、公募・選考会を経て選出された福岡県に縁のある2人の振付家が作品を上演した。</p>	<p>[選考会] 14</p> <p>[公演] 101</p> <p>[ワークショップ] 10</p>
<p>公 1-1(5)</p> <p>【提携】 舞台「世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド」</p>	<p>北九州芸術劇場 大ホール 2月28日(土) ～3月1日(日)</p> <p>3公演</p>	<p>日本を代表する世界的作家・村上春樹が36歳の時に発表、海外でも人気の高い長編小説『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』が、フィリップ・ドックフレ演出・振付により舞台化。日本屈指の実力派俳優・藤原竜也が満を持して初めて村上春樹作品に挑み、新境地を切り開いた。</p> <p>【原作】村上春樹 【演出・振付】フィリップ・ドックフレ 【脚本】高橋亜子</p>	<p>3,543</p>

<p>公 1-1(5)</p> <p>【提携】 太めパフォーマンス 「BIG Swans」</p>	<p>北九州芸術劇場 小劇場 3月6日(金) ～8日(日) 3公演</p> <p>[関連企画] 井手茂太と振り返る、太めパフォーマンス過去作品上映 北九州芸術劇場 セミナールーム 3月6日(金) 1回</p>	<p>北九州を拠点に活動する太めパフォーマンスの乗松薫と鉄田えみが振付、モモンガ・コンプレックスの白神ももこが演出を手掛ける、太めパフォーマンス最新作。2025年3月まで鉄田が書き遺した創作メモを原案として、乗松がいまできる最大限で挑む「大きな白鳥」を上演した。</p> <p>【作】太めパフォーマンス 【演出】白神ももこ(モモンガ・コンプレックス) 【振付】乗松薫、鉄田えみ</p>	<p>[公演] 251</p> <p>[過去作品上映] 32</p>
<p>公 1-1(5)</p> <p>【提携】 MONO 第53回 公演「退屈忍者」</p>	<p>北九州芸術劇場 小劇場 3月14日(土) ～15日(日) 3公演</p>	<p>軽妙な笑いの中に、現代社会や人間の深層心理を織り込む“会話劇”で人気の関西の老舗劇団 MONO の新作公演。TV や映画などの脚本家としても活躍している土田英生の作・演出で上演した。</p> <p>【作・演出】土田英生</p>	<p>311</p>
<p>公 1-1(5)</p> <p>【協力】 中村勘九郎 中村七之助 春暁歌舞伎特別公演 2026</p>	<p>北九州芸術劇場 大ホール 3月21日(土) 2公演</p>	<p>中村勘九郎、中村七之助を中心に、中村屋一門が毎年行う全国巡業公演。歌舞伎を初めて観劇する人にも楽しんでもらえるよう、工夫を凝らしたトークショーも交えた公演を実施した。</p>	<p>2,466</p>

### (5) 支援事業

大ホール・中劇場・小劇場の各施設利用者に対して、「提案する劇場」をモットーに経験豊富なスタッフがアドバイスをを行い、市民の文化活動を支援するほか、地元劇団等の地域での作品創造や上演の環境づくりを支援する事業を実施した。

事業名	場所・時期・内容等
<p>創造支援事業 演カツ！！2025 ＜再掲＞</p>	<p>(2) 学芸事業 参照</p>
<p>飛ぶ劇場 Vol.48「パケケタス がやって来る」 ＜再掲＞</p>	<p>(4) 提携・協力事業 参照</p>
<p>太めパフォーマンス「BIG Swans」 ＜再掲＞</p>	<p>(4) 提携・協力事業 参照</p>

## (6) 地域文化振興事業(受託事業)

市民が優れた芸術文化に接する機会を提供するために公演事業を実施した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数(人)
<p>公1-1(2) 公1-2</p> <p>第55回北九州市 ファミリー劇場 一角笛シルエット 劇場— 「やさしいライオン」 「つのぶえのうた」</p>	<p>市内市民会館(門司・戸畑・若松)、黒崎ひびしんホール、北九州芸術劇場大ホール</p> <p>5月20日(火)～27日(火) ※5月25日(日)は休演日</p> <p>7公演</p>	<p>劇団角笛による、幻想的で鮮やかな影絵劇。幼い頃から舞台芸術に親しんでもらうため、幼児・親子が楽しめる良質な観劇の機会を提供した。</p>	3,668
<p>公1-1(2) 公1-2</p> <p>人形浄瑠璃 「文楽」</p>	<p>戸畑市民会館 大ホール</p> <p>3月4日(水)</p> <p>2公演</p>	<p>太夫、三味線、人形の三位一体が織りなす情緒豊かな日本の伝統芸能として、ユネスコ世界無形文化遺産にも登録された日本の伝統芸能「文楽」の公演を実施した。</p>	1,022

## (7) その他

地域に開かれた劇場として、より気軽に劇場へ足を運べる取り組みを行った。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数(人)
<p>公1-1(3)</p> <p>キタゲキヒラクプロジェクト</p> <p>①「行こう!劇場さんぽ」</p> <p>②「劇場ナイトツアー」</p> <p>③「キタゲキの森」</p>	<p>北九州芸術劇場大ホール</p> <p>①8月11日(月・祝)</p> <p>②3月17日(火)</p> <p>③リバーウォーク北九州内 募集期間: 9月17日(水)～12月26日(金) 掲出期間: 2月3日(火)～3月22日(日)</p>	<p>空き日を活用した施設開放、見学ツアー等に取り組んだ。また、リバーウォーク北九州や劇場にメッセージボードを設置し市民の声を集め、集まったものを掲出する取り組みも行った。</p>	<p>①64</p> <p>②43</p> <p>③7ツアー数 650</p>

## 2 音楽文化の振興

北九州市の音楽文化の中核施設である響ホールにおいて、「創造と発信（創造・公演事業）」「育成と継承（育成事業）」「地域連携による心豊かな社会の実現（連携・支援・地域文化振興事業）」をミッションに事業展開し、市民の多様なニーズに応え、音楽文化の振興を行った。

### (1) 創造事業

響ホールオリジナルのコンサートを創造し、発信力の高い音楽文化の振興に取り組み、地域の音楽文化を牽引する企画制作を行った。

事業名	時期・場所等	内容等	入場者数(人)
<p>公 1-1(2)</p> <p>響シリーズ i</p> <p>アレクサンドル・メルニコフ×クアルテット・インテグラ</p>	<p>響ホール</p> <p>7月5日(土)</p>	<p>響ホールオリジナル企画の2時間のクラシックコンサート。</p> <p>クアルテット・インテグラは本公演に併せて、「地域訪問コンサート」「響ホールへようこそ！」へも出演した。</p>	337
<p>2025 北九州国際音楽祭</p> <p>特別プログラム</p> <p>まるっと Enjoy!</p> <p>響ホールで夏休み</p>	<p>公 1-1(2)</p> <p>響ホール</p> <p>8月10日(日)</p> <p>公 1-1(3)</p> <p>関連事業</p> <p>まるさんのヴァイオリンが上手くなるひみつ</p>	<p>3歳以上対象で入場無料。気軽に参加して本格的なクラシック音楽鑑賞などを楽しめるイベント。響ホールと音楽祭を身近に感じてもらうことを目的に実施した。</p> <p>(荒天のため公演を40分短縮して実施した)</p>	466
<p>2025 北九州国際音楽祭</p> <p>鳥羽咲音[チェロ]</p> <p>鳥羽泰子[ピアノ]</p>	<p>公 1-1(2)</p> <p>西日本工業倶楽部</p> <p>11月5日(水)</p> <p>公 1-1(3)</p> <p>関連事業</p> <p>楽しみかた聴きどころ講座</p>	<p>地域の財産である国定重要文化財の西日本工業倶楽部を会場とする例年人気のコンサート。新進気鋭のチェリストを迎えた。</p>	93
<p>2025 北九州国際音楽祭</p> <p>住谷美帆、上野耕平</p> <p>サクソフォン デュオ リサイタル</p> <p>高橋優介[ピアノ]</p>	<p>公 1-1(2)</p> <p>響ホール</p> <p>11月9日(日)</p> <p>公 1-1(3)</p> <p>関連事業</p> <p>地域訪問コンサート</p> <p>門司総合特別支援学校</p> <p>11月10日(月)</p> <p>中学生の鑑賞教室</p> <p>1・2</p> <p>楽しみかた聴きどころ講座</p>	<p>今、最も注目され、人気実力ともに備えた二人のクラシックサクソフォン奏者による初のデュオ・リサイタルを開催。サクソフォンの魅力を存分に披露した。</p>	420

<p>2025北九州国際 音楽祭 ハーゲン・クアル テット[弦楽四重奏] with谷 昂登[ピア ノ]</p>	<p><u>公 1-1(2)</u> 響ホール 11月15日(土)</p> <p><u>公 1-1(3)</u> 関連事業 楽しみかた聴きど ころ講座</p>	<p>本市出身の谷昂登は世界に羽ばたく若手ピアニストとして大変注目を集めている。今回は、世界屈指の弦楽四重奏団であるハーゲン・クアルテットと初共演。ハーゲン・クアルテットの日本ツアーでは、本公演でのみピアノ五重奏曲を披露した。</p>	<p>529</p>
<p>2025 北九州国際 音楽祭 マイスター・アール ト×ライジングスタ ー オーケストラ</p> <p>コンサートマスター 篠崎史紀 ソリスト・合唱 東京オペラシンガ ーズ</p>	<p><u>公 1-1(2)</u> 響ホール 11月23日 (日・祝)</p> <p><u>公 1-1(3)</u> 関連事業 楽しみかた聴きど ころ講座</p>	<p>本音楽祭のオリジナルオーケストラによる名物企画。コンサートマスターは、本市出身で文化大使の篠崎史紀が務め、メンバーは、国内主要オーケストラのトップ奏者と新進気鋭の若手奏者により構成。12回目となる今回は、東京オペラシンガーズを迎え、ベートーヴェン『第九』に取り組んだ。</p>	<p>567</p>
<p>2025 北九州国際 音楽祭 三浦一馬[バンドネ オン] 関 朋岳[ピアノ] 佐藤晴真[チェロ] ニューニュー[ピア ノ]</p>	<p><u>公 1-1(2)</u> 響ホール 11月29日(土)</p> <p><u>公 1-1(3)</u> 関連事業 中学生の鑑賞教室 3・4 楽しみかた聴きど ころ講座</p>	<p>近年特にピアソラの演奏に力を入れている三浦一馬が、響ホールの音響環境に合った特別編成を組んでオール・ピアソラ プログラムを披露した。</p>	<p>481</p>
<p>響シリーズ ii</p> <p>共鳴する音楽会 (紀尾井ホール共催)</p>	<p><u>公 1-1(2)</u> 響ホール 2月8日(日)</p> <p><u>公 1-1(3)</u> 関連事業 地域訪問コンサ ート 一枝小学校、尾倉中 学校(インリーチ) 1月13日(火) 楽しみかた聴きど ころ講座</p>	<p>邦楽とクラシック音楽を融合させた2時間30分にわたる紀尾井ホールとの連携企画コンサート。 本公演前に「聴きどころ講座」「地域訪問コンサート」も実施した。</p>	<p>518</p>

## (2) 公演事業

音楽専用ホールである響ホールの特性を生かし、質の高い音楽鑑賞の機会を提供した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数(人)
響シリーズ iii iv ①周防亮介 [ヴァイオリン] 高木竜馬[ピアノ]  ②沖仁×大萩康司 ×小沼ようすけ “TRES” [ギター]	公 1-1(2)  響ホール ① 6月21日(土) ② 12月20日(土)	国内外で活動する一流アーティストによる2時間のコンサート。 クラシック音楽を中心に、多様なジャンルの公演を実施した。	①304 ②571
響ホールへようこそ!  ①クアルテット・インテグラ [弦楽四重奏]  ②響ホール室内合奏団メンバーによる[弦楽四重奏]  ③姜建華[二胡]&楊宝元[中国琵琶]	公 1-1(2) [本公演] 響ホール ① 7月2日(水) ② 9月11日(木) ③ 2月13日(金) 公 1-1(3) [地域訪問コンサート] ①引野ひまわり学園 介護老人保健施設 伸寿苑 7月3日(木)  ②ひびきの小学校 本城市民センター 9月10日(水)	平日(昼)の響ホールを活用し、トークを交えた60分間のコンサートを実施。新たな顧客層を開拓し、クラシック音楽の魅力を伝えるとともに本格的なクラシック音楽を聴くことができる響ホールのPRを行った。 また、“より地域に根差し、地元色を打ち出したコンサート”を目指し、本市出身の演奏家を起用するなど(②)、地元演奏家の支援及び連携、地域の音楽文化の振興を図った。併せて、クラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指し、地域訪問コンサートを実施した。	[本公演] ①257 ②267 ③507
2025 北九州国際音楽祭 堤剛×スティーヴン・イッサーリス×横坂源×上野通明[チェロ四重奏] 沼沢叔音[ピアノ]	公 1-1(2)  響ホール 10月18日(土)	80代、60代、30代、20代の各世代のトップチェリストが特別に集結する企画。チェロ1本から4本まで、様々な編成の楽曲により、チェロの魅力、演奏者の魅力満載の公演を実施した。	529
2025 北九州国際音楽祭 キリル・ゲルシュタイン×藤田真央[2台ピアノ]	公 1-1(2)  響ホール 12月7日(日)	世界の檜舞台を席卷する藤田真央とヨーロッパのクラシック音楽シーンで実力ナンバーワンのキリル・ゲルシュタインの師弟コンビによるピアノ2台での演奏会を実施した。	660

### (参考) 地域訪問コンサート

No.	実施日	開催場所	対象	派遣演奏家	参加人数
1	7月3日	引野ひまわり学園	園児・職員	クアルテット・インテグラ	80
2		介護老人保健施設伸寿苑	施設利用者・職員		150
3	9月10日	ひびきの小学校	小学5・6年生	響ホール室内合奏団メンバー 福崎雅也、加来洋子、松隈聡子、金子鈴太郎	487
4		本城市民センター	一般市民・職員		60

5	10月8日	障害者支援施設 ひよりの丘	利用者とその家 族・職員	おとみっく	172
6	11月10日	門司総合特別支援 学校	小学3～6年生	上野耕平、住谷 美帆、高橋優介	89
7	11月18日	九州女子大学付属 折尾幼稚園	園児・職員	篠崎史紀、去川 聖奈、井上麗香 、齋藤華香、豊 永美恵、渡辺繁 弥、日高剛、菅 沼希望、市寛也	215
8		三郎丸小学校	小学1～6年生		430
9	11月19日	志明館小学校	全校児童	去川聖奈、井上 麗香、日高剛、 市寛也、菅沼希 望、鶴原壮一郎	70
10		花尾中学校	中学1～3年生		415
11	1月13日	一枝小学校	小学5・6年生	野村峰山、藤本 昭子、今藤長龍 郎	67
12		響ホール ステージ	尾倉中学校 1・2年生		52
13	1月22日	折尾東小学校	小学1～6年生	奥村 愛 河野紘子	291
14		総合療育センター	入所者・職員		54
15	1月23日	大原小学校	小学1～6年生		273
16		枝光小学校	小学1～3・5・6年生		137
合計					3,042

### (3) 育成事業

鑑賞者、アーティスト、アーツスタッフなど幅広く文化芸術の担い手を育成し、次世代に音楽文化の継承を行った。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数(人)
<u>公1-1(3)</u> NEW! 楽しみかた 聴きどころ講座 ①クラシックコンサ ートへ行こう! ②第九を語る ③北九州国際音楽祭 へ行こう! ④アーティスト・トーク ⑤新春・邦楽講座 ※①～④は北九州国 際音楽祭特別プログ ラムとして実施	①響ホール ステージ 5月24日(土) ②西日本工業大学 小倉キャンパス 6月28日(土) ③西日本工業大学 小倉キャンパス 9月7日(日) ④響ホール リハーサル室 10月18日(土) ⑤響ホール ステージ 1月12日(月・祝)	講座を通じて、響ホールの 年間ラインナップ(北九州国 際音楽祭含む)の各公演内容 などを細やかに発信した。 聴衆の育成やこれまで音楽 に馴染のない方が親しむき っかけの場として、普及、 啓発、振興、教育などの役 割を担い、公演の広報宣伝 の場としても活用した。	①40 ②125 ③42 ④42 ⑤40
<u>公1-1(3)</u> アーツスタッフ 養成講座 ①おもてなし講座 ②③サポートの必要 な方への接遇講座	響ホール ①6月4日(水) ②6月5日(木) ③8月26日(火)	①フロントスタッフとして 必要なおもてなしを学ぶた めの講座を実施した。②サ ポートが必要なお客様への 理解と対応方法を学ぶため の講座を実施した。 ③8月にはインクルーシブ 公演来場者への対応を学ぶ 講座も実施した。	①34 ②27 ③26

<p>公 1-1(3)</p> <p>2025 北九州国際 音楽祭 特別プログラム まるさんのヴァイオリ ンが上手くなるひ みつ</p>	<p>響ホール リハーサル室 8月9日(土)</p>	<p>本市出身の元NHK交響楽 団特別コンサートマスター 篠崎史紀によるヴァイオリ ン愛好者を対象としたレッ スンを行い、その様子を一 般公開した。</p>	<p>40</p>
<p>公 1-1(3)</p> <p>2025 北九州国際 音楽祭 特別プログラム まるっと Enjoy! 響ホールで夏休み</p>	<p>響ホール 8月10日(日)</p>	<p>3歳以上を対象に入場無料 とした、気軽に参加して本 格的なクラシック音楽鑑賞 などを楽しめるイベント。 響ホールと音楽祭を身近に 感じてもらうことを目的に 実施した。</p>	<p>466</p>
<p>&lt;インクルーシブ&gt; おとみっく 「音の旅」</p>	<p>公 1-1(2) 響ホール ①10月7日(火) ②10月8日(水) 公 1-1(3) 関連事業 地域訪問コンサート ひよりの丘 10月8日(水)</p>	<p>障害の有無にかかわらず、 大人から子どもまで誰でも 楽しめる音楽コンサート。 施設・特別支援学校などへ の訪問コンサートも実施し た。</p>	<p>①80 ②123</p>
<p>公 1-1(3)</p> <p>2025 北九州国際 音楽祭 教育プログラム ①幼稚園の訪問コン サート ②③小学生の鑑賞教室 ④中学生の訪問コン サート</p>	<p>①九州女子大学付属 折尾幼稚園 11月18日(火) ②三郎丸小学校 11月18日(火) ③志明館小学校 11月19日(水) ④花尾中学校 11月19日(水)</p>	<p>音楽祭出演者による訪問コ ンサート。“生の音楽を聴 く、体感する”を主眼に実 施し、演奏者による楽器や 曲目の話を交えながら、分 かりやすく楽しめる内容と した。</p>	<p>①215 ②430 ③70 ④415</p>
<p>公 1-1(2)</p> <p>2025 北九州国際 音楽祭 特別プログラム プレ・コンサート</p>	<p>響ホール 11月23日 (日・祝)</p>	<p>開演前にオーケストラメン バーにより、金管・木管ア ンサンブル、弦楽合奏など のプレ・コンサートを行っ た。</p>	<p>567</p>
<p>0才からの親子で楽 しむクラシックコン サート</p>	<p>公 1-1(1) 響ホール 1月24日(土) 2回公演 公 1-1(3) 関連事業 地域訪問コンサート 折尾東小学校 北九州市立総合療育 センター 1月22日(木) 大原小学校 枝光小学校 1月23日(金)</p>	<p>0才から入場できるコンサ ートを企画創作。地域訪問 コンサートを2日間行った 後、響ホールにて本公演を 午前・午後の2回実施し た。</p>	<p>903 (2公演)</p>

公 1-1(3) 2025 北九州国際 音楽祭 特別プログラム コンサート・スタン プラリー	音楽祭有料プログラ ム会場 音楽祭期間中	3つ以上の対象コンサートのスタンプを集めた方に抽選で、出演者のサイン色紙などをプレゼントし、来場者の本音楽祭への愛着心を育て、リピーターの増加を目指し実施した。	申込人数 63
公 1-1(3) 早期教育プロジェクト 2025 in 北九州	響ホール 2月21日(土)	東京藝術大学音楽学部の講師による公開レッスンを実施した。 【講師】 實川 風 (ピアノ)	65
公 1-1(3) ハープ研究会	[レッスン] 響ホール 月2回 (40分/回)	ハープに興味を持つ市民に対し、ハープ演奏を学ぶ機会の提供を目的として実施した。	会員 15 (延べ360)
公 1-1(3) チェンバロ教室	[レッスン] 響ホール 月2回 (40分/回)	響ホールのチェンバロを市民に広く周知するとともに、チェンバロ演奏を学ぶ機会の提供を目的として実施した。	会員 3 (延べ72)

#### (4) 連携事業

音楽の力を活かし、様々な団体等と交流・連携・協働しながら、地域の活性化や教育・福祉の充実など、彩りある心豊かな社会の実現と魅力あるまちづくりに貢献した。

事業名	場所・時期等	内容等
地域訪問コンサート 〈再掲〉	市内小中学校、特別支援学校、障害者施設、高齢者施設、市民センターほか 通年	クラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指すため、「響ホールへようこそ！」等の出演者による地域訪問コンサートを実施した。 (16公演)
公 1-1(5) 公 1-1(3) ひびきつながる プロジェクト	響ホールほか 通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内施設との連携企画として、市立八幡図書館との共催で「朗読コンサート」を開催した。 (参加者数82名)</li> <li>都市計画、まちづくりをテーマに活動する北九州市立大学地域創生学群のゼミ生との連携企画(ワークショップや地域でのコンサート等)を実施した。 (ワークショップ参加者数14名/コンサート入場者数160名)</li> </ul>
公 1-1(3) 北九州国際音楽祭 組織委員会	通年	本市の財界、音楽界、教育界等の代表団体より参画を得て、北九州国際音楽祭へ地元ニーズを反映するとともに、本市の活性化に寄与した。
公 1-1(3) 年長者研修大学校との 連携事業	響ホール 6月	年長者研修大学校 周望学舎・穴生学舎と連携。音楽コース受講者へ響ホールの特色や取り組みの紹介やステージで日頃の成果発表をするなどし、響ホールへの愛着醸成を図った。(51名)

## (5) 支援事業

地域文化の振興を図るため、市民の音楽活動を支援する取り組みを行った。

事業名	場所・時期等	内容等
公 1-1(3) 中学校合唱講習会	響ホール 7月23日(水) ～24日(木)	北九州市中学校音楽教育研究会との共同主催にて、中学生及び合唱団のための合唱講習会を実施した。 【講師】 田中安茂(合唱指揮者) (314名)
公 1-1(3) 2025北九州国際音楽祭協賛事業	9月～12月	本市におけるクラシック音楽文化等を盛り上げることを目的とし、9月～12月に北九州市内の施設で実施されるクラシック音楽等のコンサートを対象に、北九州国際音楽祭協賛事業(冠事業)の公募を実施した。
公 1-2 響ホールお迎えバス	響ホール 通年	貸館時に、八幡駅発のお迎えバス(9人乗り)を運行し、響ホールへのアクセスの利便性向上を図った。 (主催者一部負担3,900円)

## (6) 地域文化振興事業(市受託事業)

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数(人)
公 1-2 第49回北九州 青少年少女合唱祭	戸畑市民会館 7月6日(日)	市内外の青少年少女合唱団が一堂に会して発表を行った。	949
公 1-1(2) 公 1-2 第46回北九州市レ ディースコーラス フェスティバル	響ホール 3月20日 (金・祝)	市内外のレディースコーラスグループが一堂に会して発表を行った。	950
公 1-1(2) 公 1-2 合唱組曲 「北九州」演奏会	北九州芸術劇場 大ホール 3月8日(日)	ふるさと讃歌である合唱組曲「北九州」の演奏会。 【出演】 北九州をうたう会、市内青少年少女合唱団、市内中学校・高校合唱部、九州交響楽団、小倉祇園太鼓ほか	878
公 1-1(3) 公 1-2 北九州市青少年 少女合唱団育成事業	[練習] 戸畑市民会館ほか 毎週土曜日 14時 から [公演] 第51回定期演奏会 北九州芸術劇場 大ホール 12月14日(日)	合唱団の活動を通じて、団員の合唱技術や音楽性の向上に努め、情操かな青少年の育成及び市民文化の向上を図った。	定期演奏会 592

<p>公 1-1(3) 公 1-2</p> <p>北九州市ジュニアオーケストラ 育成事業</p>	<p>[練習] 大手町練習場 毎月3回日曜日 9時から</p> <p>[公演] 第42回定期演奏会 北九州芸術劇場 大ホール 8月24日(日) 第28回スプリングコンサート 北九州芸術劇場 大ホール 3月29日(日)</p>	<p>オーケストラ活動を通じて、団員の演奏技術や音楽性の向上に努め、情操豊かな青少年の育成及び市民文化の向上を図った。</p>	<p>定期演奏会 695</p> <p>スプリングコンサート 896</p>
<p>2025 北九州国際音楽祭 中学生の鑑賞教室</p> <p>① 住谷美帆、上野耕平サクソフォンデュオ リサイタル 高橋優介[ピアノ] ② 三浦一馬[バンドネオン] 関朋岳[ヴァイオリン] 佐藤晴真[チェロ] ニューニュー[ピアノ]</p>	<p>公 1-1(3)</p> <p>響ホール ① 11月11日(火) ② 11月28日(金) 各日2公演</p>	<p>未来を担う青少年に一流の音楽に触れてもらうため、有料プログラムに出演する演奏者によるレクチャー付きコンサートを実施した。</p>	<p>① 1,116 ② 1,144</p>

### 3 芸術文化情報の収集及び提供事業

地域の芸術文化活動や公演の情報提供を行った。

事業名	時期・場所等	内容等	来場者数(人)
<p>公 1-1(5),公 1-2 北九州芸術劇場&amp;響ホール 「情報誌Q」の発行</p>	<p>年3回発行 7・11・3月 10日号 各90,000部</p>	<p>北九州芸術劇場・響ホールで行われる公演情報をはじめ、実施事業について紹介。</p>	<p>△</p>
<p>公 1-1(5),公 1-2 芸術文化情報センターの運営</p>	<p>北九州芸術劇場内</p>	<p>チケット&amp;アートスペース『Q-station』及び市民ギャラリーの運営、ホームページ等で公演の情報提供等を行った。</p>	<p>18,948</p>
<p>公 1-1(5),公 1-2 北九州芸術劇場&amp;響ホール 会員制度 「チケットクラブQ」 「KICPACメンバーズ」</p>	<p>—</p>	<p>市民により親しまれる身近な劇場・音楽堂を目指し運営。 【特典】公演など劇場・響ホール事業に関する情報の提供、チケット先行予約、ポイント積立てによる割引等。</p>	<p>△</p>
<p>公 1-1(5),公 1-2 北九州市芸術文化情報サイト「かるぼー」(ポータルサイト)の管理運営</p>	<p>V 地域文化の情報提供</p>	<p>参照</p>	<p>△</p>

#### 4 北九州市文化芸術活動活性化支援事業 公 1-1(4)

##### (1)北九州市文化芸術次世代育成事業 TRY ARTs

本市に文化土壌の継承と発展に寄与することを目的として、市民の自主的な文化芸術活動を対象に、経費の一部を助成した。

対象事業	交付件数
令和7年7月1日から令和8年3月15日までの間に実施される市民の文化芸術活動	17件

##### (2)総合相談窓口事業

市内で活動する、あるいは活動を検討している文化芸術関係者（個人・団体）のさまざまな相談に対する無料の専門相談窓口を運営し、伴走的な支援を行った。

## II 芸術文化施設の管理 公 1-2

北九州市の指定管理者として、各文化芸術施設の管理を実施した。

施設名	令和6年度		令和7年度		増減比較	
	利用件数	利用人員	利用件数	利用人員	利用件数	利用人員
北九州芸術劇場	1,406	209,008	1,493	250,089	87	41,081
響ホール	6,032	42,831	6,241	43,988	209	1,157
大手町練習場	27,236	75,125	27,022	67,677	△214	△7,448
計	34,674	326,964	34,756	361,754	82	34,790

\*北九州芸術劇場は修繕工事により、令和7年12月1日～令和8年2月15日（小劇場）を閉館とした。

## III 市有施設の維持管理 収 2

響ホールをはじめとする指定管理施設「北九州市立国際村交流センター」について、利用者・入居者が安全・快適に利用することができるよう適切に維持管理を行った。

施設名	主要施設	期間
国際村交流センター	響ホール、八幡東生涯学習センター、北九州国際技術協力協会、アジアカーボンニュートラルセンター（環境局環境国際戦略課）、地球環境戦略研究機関、資源環境ネットワーク、駐車場	令和7年4月1日から令和10年3月31日まで（指定管理）

#### IV 埋蔵文化財の発掘調査研究

北九州市及び民間開発業者などからの委託を受け、埋蔵文化財の発掘調査、研究及び保存等を行い文化の振興に寄与した。

##### 1 埋蔵文化財の発掘調査及び整理事業等 公 2-2(1)

No.	事業名	遺跡名	区分		面積㎡	遺跡の概要
			発掘	整理		
1	令和7年度 折尾土地区画整理事業 (堀川地区、17街区)	菅原神社遺跡 11区・12区	発掘		2,930	集落跡
2	令和7年度 折尾土地区画整理事業(27街区)	末里遺跡2区	発掘		720	集落跡
3	令和7年度 横代南町山手1号線道路改築事業	石田・原遺跡 第7地点5区	発掘		2,522	集落跡
4	工場・店舗建設 (穴生二丁目)	穴生諏訪遺跡 第2地点	発掘		660	集落跡
5	中貫貫弥生が丘1号線道路改築事業 (令和6年度分)	貫・裏ノ谷遺跡 第2地点4区		整理	—	近世墓
6	令和7年度旦過地区土地区画整理事業(令和4・5年度発掘調査分)	魚町遺跡第3地点 1区・2区		整理	—	城下町跡
7	7号線(富士見工区)街路事業(令和6年度発掘調査分)	城野石橋遺跡		整理	—	集落跡
8	折尾土地区画整理事業(30街区)(令和6年度発掘調査分)	菅原神社遺跡 10区		整理	—	集落跡
9	令和7年度旦過地区土地区画整理事業(令和6年度発掘調査分)	魚町遺跡第3地点 3区		整理	—	城下町跡
10	令和7年度門司港地域複合公共施設建設事業(令和5・6年度発掘調査分)	旧門司駅舎跡		整理	—	近代駅舎
11	宅地造成(上石田三丁目)	石田遺跡 第7地点		整理	—	集落跡
12	宅地造成(高野三丁目)	高野遺跡 第5地点		整理	—	集落跡
合 計			発掘 4件	整理 8件	面積 6,832㎡	

##### 2 埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行 公 2-2(1)

令和7年度旦過地区土地区画整理事業(令和4・5年度分発掘調査分)など全6冊・6事業

##### 3 埋蔵文化財に関する調査研究 公 2-2(1)

年報及び研究紀要の発刊

#### 4 埋蔵文化財に関する普及活動 公 2-2(2)

埋蔵文化財に関する市民の理解を深める。

##### (1) 遺跡発掘報告会

令和 7 年度に行った発掘調査のうち話題性の高い遺跡について市民対象に報告会を実施した。

- ・ 3 月 8 日（日）開催 54 名参加
- ① 令和 7 年度の調査概要
- ② 石田・原遺跡第 7 地点 5 区（小倉南区）

##### (2) 埋蔵文化財速報展

最近の調査で出土した文化財を展示する埋蔵文化財速報展を下記のとおり実施した。

第 1 回	室町を掘る一室町遺跡第 14 地点の調査から－ 令和 6 年 1 2 月（継続）～令和 7 年 1 0 月
第 2 回	小倉城下町の近代化－魚町遺跡第 3 地点の調査から－ 令和 7 年 1 0 月～

##### (3) 市民向け及び小・中学生向け考古学講座

市民及び小・中学生を対象にした考古学講座を下記のとおり実施した。

市民・子ども考古学講座	一勾玉作り－ （8 月 2 3 日（土）開催 39 名参加）
-------------	-----------------------------------

#### 5 北九州市立埋蔵文化財センターの維持管理 公 2-1

埋蔵文化財の発掘調査や出土品その他の考古資料の整理、収蔵及び研究等を行う埋蔵文化財センターの施設管理を受託し、維持管理を行った。  
年間総入館者数は 1, 963 名。

### V 地域文化の情報提供

#### 1 北九州市芸術文化情報サイト管理運営 公 1-2

市民が気軽に芸術文化に触れる機会のさらなる創出を図るため、閲覧しやすく使いやすいポータルサイトを活用し、芸術文化に関する情報を一元的に広く発信した。

掲載情報については、施設やジャンルのほか、さまざまなシーンを想定した検索機能を搭載するなど、利便性の向上を図り、市民が必要な情報を得やすい環境を整え、関係サイトとの連携強化等を通じ、より効率的に情報へアクセスできる環境整備に取り組んだ。

#### 2 書籍の販売等 収 1(2)

北九州市に関する各種の書籍を販売した。取扱い書籍は次のとおり。

「北九州市史」（全 10 巻）、「火野葦平とゆかりの人びと」、「北九州市の野鳥たち」、「川が変えたまち」、「門司港レトロ物語」、「ひろば北九州バックナンバー」等

### VI 寄付制度 収 3

市民や企業等が芸術文化活動を支える仕組みを設け、財団の多様な財源確保および認知の拡大を図った。寄付等による支援は、自主事業の充実等に活用し、地域における芸術文化の振興とその持続的な発展を推進した。

## 《運営体制の充実を図るための取組》

### ➤ 評議員の選任および解任について

- ・ 定款第11条に基づき、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）第179条から第195条の規定に従い、評議員会において選任および解任を行う。
- ・ 法務・財務・経営・文化全般または学識経験者等異なる分野の専門家の中から、外部理事・監事の選任に準じた方法により候補者を選任する。

### ➤ 理事、監事の選任基準について

- ・ 芸術文化の振興や、地域課題の解決に繋がるアウトリーチ事業等を継続しつつ、より集客力のある事業や外部資金の獲得に力を入れ、自主財源比率を高めることで自立した法人運営を達成するため、異なる分野の専門家の中から理事候補者を選任する。
- ・ 経理的基礎を欠くことが無いよう、監事のうち一人に北九州市会計室長を充て職におくとともに、企業経営者等の異なる分野の専門家の中から監事候補者を選任する。

### ➤ 外部理事・監事の選任および各役割に対する情報提供

- ・ 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条に基づき、理事・監事の選任基準に従い外部理事および外部監事を選任する。
- ・ 毎事業年度、理事長が作成する事業計画および事業報告等について、承認または監査を行う。

### ➤ 理事の利益相反取引について

- ・ 法人法第84条および定款第34条に基づき、理事会において当該理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって承認を得る。また、法人法第92条に基づき、当該取引後の報告を行う。

### ➤ ガバナンス強化の取組

- ・ 職員を対象に毎事業年度、研修（WEBを含む）等を行うことにより、運営体制の充実を図る。  
研修の例：ハラスメント等に関する研修  
入札談合等関与行為防止法等に関する研修  
デジタルリテラシーに関する研修

## ■理事会の開催状況

### 第1回（令和7年5月26日）

- 議案第1号 令和6年度事業報告について
- 議案第2号 令和6年度決算について
- 議案第3号 特定費用準備資金の増額について
- 議案第4号 令和7年度定時評議員会の開催について
- 議案第5号 令和7年度定時評議員会の議題について

### 第2回（令和7年6月20日）みなし決議

- 議案第6号 代表理事（理事長）の選定について

### 第3回（令和7年7月1日）みなし決議

- 議案第7号 令和7年度定時評議員会の開催について（決議の省略）
- 議案第8号 令和7年度定時評議員会の議題について（理事の選任）

### 第4回（令和7年11月25日）

- 報告事項 令和8年度演目について
- 寄付制度について

### 第5回（令和8年3月17日）

- 議案第9号 令和8年度公益目的事業の種類及び内容、収益事業等の内容について
- 議案第10号 令和8年度事業計画について
- 議案第11号 利益相反取引の承認について
- 議案第12号 令和8年度予算について
- 議案第13号 公益充実資金への移行及び事業の新規設定・変更について
- 議案第14号 令和8年度常勤役員（理事長）報酬額について

## ■評議員会の開催状況

### 第1回定時評議員会（令和7年6月20日）

- 報告事項 令和6年度事業報告について
- 議案第1号 令和6年度決算について
- 議案第2～第4号 評議員の選任について
- 議案第5～第13号 理事の選任について
- 議案第14～第15号 監事の選任について

### 第2回（令和7年7月1日）みなし決議

- 議案第16号 理事の選定について

# 附属明細書

事業報告を補足する重要な事項はない。